



三原市本郷人権文化センターだより

発行／三原市人権推進課

編集／三原市本郷人権文化センター

住所／三原市本郷北3丁目16番10号

電話／問い合わせ 0848-86-3333

人権講演会を開催しました 12月8日（火）、講師にNPO法人ゆにばーさる理事の山下 真澄さんをお迎えし、『インターネットがあぶない！～インターネットで拡がる差別扇動と人権侵害～』という演題で、ご講演いただきました。

◎講演の概要

いま新型コロナウイルスの感染者をインターネット上で特定して中傷したり、医療従事者やその家族までも攻撃するような事例が後を絶たないことが大きな社会問題になっています。



2012年に、サイト運営者の鳥取ループは、ウェブサイト「住所でポン！」（現在は「ネットの電話帳」と改名）を開設しました。過去のNTT電話帳に掲載された名前や住所、電話番号といった個人情報を簡単に検索できる形で、本人には無断でウェブサイト上に公開したものです。この電話帳はグーグルマップと連携しており、住所の文字情報が表示されるだけでなく、グーグルマップでも表示されます。この判明した住所を利用して、被差別部落の居住者かどうか調べ、インターネット上で身元調査を可能とするのです。このことについて、2017年に大阪地裁において、ネットの電話帳への住所等の記載についてプライバシーの侵害が認められました。

2020年7月には、自己破産者らの氏名や住所をインターネット上に掲載する情報サイトの運営会社を対象に、政府の個人情報保護委員会はサイトの運営を停止する命令を出しました。

インターネット上の差別事件では、他人になりすまして悪意や敵意をむきだしにした差別メールを送っていた犯人が、画面上からは想像もつかない人物だった、というのも珍しくありません。インターネットで情報を公開してしまうと、情報が容易に拡散し、いったん拡散してしまった情報の削除は事実上不可能となってしまいます。2016年には、「全国部落調査」復刻版の出版は部落差別を助長する悪質な行為として、出版や販売禁止の仮処分が決定されました。

インターネット上での個人情報保護対策が各自治体で取り組まれており、福山市・三原市・竹原市・呉市などがインターネット上の掲示板などをモニタリングし、差別的な書き込みについてはプロバイダーに削除要請するなど監視活動を行っており、これは重要であり必要なことです。

この問題は、インターネットはとても便利なものである反面、悪意や差別を何倍にも増幅させる力を持っているということです。そして、それを読む人の心に何かしら影響を与えることです。差別を野放しにすることが新たな差別を生む土壌となるのです。今後必要な対策として、差別に対する罰則を強化し、差別はいけなことがわかる法律を作ることです。個人情報保護法の改正や差別禁止法の制定、またあらゆる差別の解消に向けた条例の制定が必要なのです。

人権啓発パネル展「ゆきちゃんが見た ピカドン」

絵本作家「森本マリアさん」が、原子爆弾の爆心地から15キロ離れたところで体験した記憶をもとに作った絵本をパネルにして展示します。

期間 1月16日（土）～1月24日（日）

9時～21時

場所 本郷生涯学習センター



新春！ふれあいコンサート

日時 1月17日（日）13時30分～14時30分

場所 三原市人権文化センター（長谷1丁目）

演奏 三原高校器楽部OB会

定員 50名（申込み不要）・入場無料

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、延期・中止となる可能性があります。あらかじめご了承ください。



※ご自身の大切な個人情報を守るために、登録型本人通知制度へ登録を。

●電話 86-33333

●ところ 三原市 本郷人権文化センター

●とき 土・日・祝日を除く 10時～16時

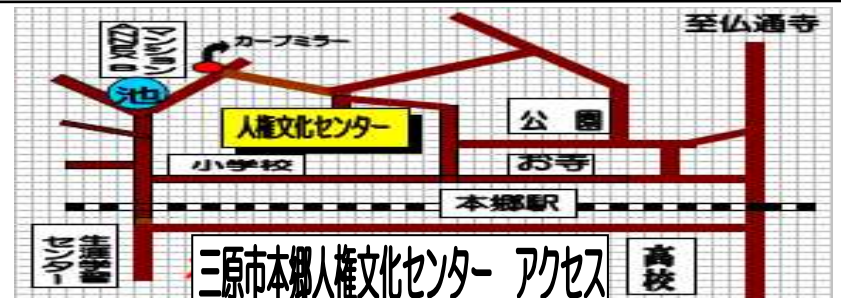
お気軽に相談してください。

相談は無料で秘密は守られます。

みの方は、人権相談員にご相談ください。

人権侵害や差別などでお悩

人権相談



JR本郷駅北側の本郷小学校裏の丘に緑の屋根の建物があります。道が入り組んでおりますので、気をつけてご来場ください。